

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児トムテンジュニア岩出		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ~ 令和7年11月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ~ 令和7年11月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月6日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・積極的な外出の企画 ・季節ごとの行事の開催企画	・利用決定のカレンダーは毎月制作にて、利用児に作成してもらい、自分の作ったカレンダーに送迎時間を記載し、持つて帰ってもらっている。	・外出がより充実出来るよう、スタッフの増員をし普段の支援の行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタッフの人数が、安定していない、	・スタッフの安定を図る。	・11月中旬に専門職スタッフの雇用があり、全員に業務を分配し全スタッフで分担して支援をスムーズに行って行く。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	重症心身障がい児トムテンシュニア岩出		公表日 年月日 _____					
						利用児童数 7名	回収数 5名	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1		・児童発達支援管理責任者を筆頭に、看護師や保育士、機能訓練士などの専門職員を交えて、支援計画を立てたり、モニタリングを行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	2	・食堂、イベントなどあつたら良かつたです。	・イベント等の企画を今後も行ってまいります。食堂は設備上の問題で実施出来ておらず、申し訳ございません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		1	2		・保護者様からのご希望等で、行っていたらと思っております。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		1	2	・姉妹も遠足行けたら良かったです。	・今後希望等を伺い、家族様参加のイベントや外出も企画していくらと思っております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			・職員の方の負担軽減をとグループSNS 良かったです。	・保護者様のご協力で運営できており、誠にありがとうございます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5			・楽しみに待っています。		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5			・楽しみに待っています。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	1		・楽しみに待っています。	・お子様、保護者様が安心して利用できるように、これからも支援を行ってまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		重症心身障がい児トムテンジュニア岩出				公表日 令和 7年 12月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 支援室外にバギーを並べるなどして対応している。 限られた範囲の中でも落ち着いた環境作りを、心掛け快適に過ごしてもらえるように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状より、利用人数が増加する場合は、対応が必要。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		<ul style="list-style-type: none"> スタッフの数が不足している。 利用児が多い時には、職員が足りていない時もある。 利用人数の変動があるが、看護師が足らない様に感じる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 毎日清掃、消毒し清潔に保っている。 プレイマットを敷き詰めて寝転ぶことが出来るようにしている。 目で見て楽しむことが出来るように、壁面飾りや天井飾りを、季節や行事予定に合わせて作成し、毎回変えている。 室内は毎日除菌スプレーにて消毒し、清掃も行っている。 	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> アコードィオンカーテンで仕切っている場所を作っている。 発熱時には、別室の個室がないので、事務所にて対応している。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のミーティングや、申し送りを通して行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを十分に行えていない。 PDCAを心掛けているが、臨機応変を問われることが多く感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 職員同士の話し合いをして、日々業務改善に努めている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員会は設置していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ZOOMなどで定期的に行っている。 	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 作成できている。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 作成できている。 毎月のミーティングで話し合い、共通理解をしている。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		・立案されたプログラムを見直す機会が少ない。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		・十分な打ち合わせは行えていないが、その都度コミュニケーションをとり連携している。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・良かった点や不備があった際には、報告をし次回につなげられる支援を見当する。	・十分な振り返りは行えていない。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・制作活動実施にて、折り紙の色や絵具など、選択できるものを数種類準備し、各児童に選んでもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		・行ってはいるが、機会は少ない。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		・研修の機会がない。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	2		・感染症のリスク軽減のため、十分な交流はもてていない。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	4	・送迎時や連絡帳で児の様子を共有できている。 ・送迎時う連絡帳にて、状況等隨時伝えあつてている。 ・変更があった場合には、電話やLINEにて連絡を取り合っている。 ・送迎時の短い時間はあるが、保護者と連携を図り共通理解に努めている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・保護者のニーズに合わせて、情報提供を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・悩みを聞き、スタッフ間でも共有し適切な対応が出来るよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		・出来ていない。 ・利用児童の家族様より、他のご家庭等交流を持ちたくない声があったため、交流会の開催が出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・スタッフで共有し、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・LINEを利用し、情報や写真を共有している。 ・春夏秋冬で通信を作成し、各家庭や支援学校等に配布している。	・HPの更新はできていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・感染症リスクの軽減のため、未開催。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・緊急時の対応について、シミュレーションを行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・発作の様子や対応を確認し、スタッフで共有できている。 ・利用児に応じての発作薬の対応など指示を受けている。 ・利用児童の表を制作し、わかりやすく緊急の場合でもすぐ見て服薬などの対応しやすくなっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・出来ている。 ・ヒヤリハットを共有し、共有時は各職員が押印し、確実に閲覧している。 ・その都度改善策などを全員で話し合い共有を徹底している。	

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止研修を年2回実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・発作等で児童が怪我をしないように、身体の補助をすることを、保護者様へ確認を行っている。	